

令和元年度 事業報告

- (1) 冬野の郷について、特養の立ち上げが順調である。他方、冬野の郷通所については、利用者獲得は目標の 3 分の 1 となった。理由としては、知名度の低さ及び予防介護の特徴 PR 不足である。
- (2) ひろの里について、2018 年 12 月発生の事故について現在、係争中である。営業不足及び事故の後遺症（風評）により 2 期連続の赤字となった。
- (3) なつあけの里について、毎月 3 名程度の利用者獲得となり、増収に繋がった。
- (4) 冬野の郷通所介護事業について、TANO を導入し、姿勢測定からその人に合った運動を提案。予防介護の主業務とする。
 - ・ TUG（高齢者のバランス能力を評価）
 - ・ 椅子の立ち座り
 - ・ 開眼片足立ち
 - ・ 最大一歩
 - ・ 最大歩行
 - ・ 通常歩行 等

令和 2 年 5 月 29 日
社会福祉法人 きたば会
理事長 近藤裕夫